

## 会場審査員賞

### 「お大事にどうぞ」 クリモワ エレーナ

Ms.Klimova Elena  
(ロシア・会社員)

日本語を勉強し、大好きな日本に行くには仕事し  
かないと思っていました。大学を卒業して1年後日  
本で就職しました。それ  
から10年、ロシアと日本  
の架け橋となる仕事をし  
ています。



皆さんは、子供の時に、どんな遊びをしていましたか？私は、お医者さんごっこが大好きでした。その時の遊び相手は、勿論、ロシア人の子供達でしたが、外国の人の体は私達と同じだろうか、とずっと疑問に思っていました。国が違えば、人の体も変わるでしょうか？私が初めて見た外国人は、日本人でした。その人に可愛がってもらって、今でも忘れられない、大きくて甘いミカンをもらいました。当時、物不足に悩んでいるソ連に住む私達は、年に一度お正月にしか食べられない豪華な果物でした。「ママ、ママ、いつでもこんなに美味しいミカンの味が楽しめる日本人は、きっと、舌が三つもある！」、と勝手に診断して興奮している自分がいました。日本の皆さんは、気づいていないかもしれませんが、勿論、舌が一つしかないですが、実際は、他の国と比べたら、幸せを語る体をしています。今日は、本当に勝手でございますが、私のお医者さんごっこに付き合ってください、皆さんが当たり前としか思っていないものは、実は日本人の大きな幸せであることを再認識して頂きたいと思います。

それでは、診察を始めます。「今日はどうなさいましたか？おしっこが近いですか？それは病気ではないですよ！」。私は、仕事の関係で日本人を連れて、ロシア出張に行くことが多いです。ロシア人だけで走れば、目的地まで車で15時間でたどり着きますが、日本人を連れれば、20時間もかかってしまいます。その理由は、おしっこです。移動中、私達は2回しかトイレにいかなくてもいいのですが、日本人は6-7回必要です。日本は、どこに行っても、普通に綺麗な公衆トイレが沢山あります。60万人も住む私の故郷ハバロフスクには、公衆トイレが2-3箇所しかありません。但し、有料です。スーパーとデパートにはトイレがありますが、スタッフが使うもので、お客さんの使用は禁止です。街中に出たら、用が済ませられないことは体作りまで影響し、日本人より膀胱が大きくなってきている気がします。トイレの神様に守られ、我慢しなくてもいい日本人っていいですね！

「お婆さん、またチャリンコに乗って来られましたか？痛いって当たり前でしょう、100歳もうすぐだも〜ん！」。いうまでもなく、83歳にもなる世界で一番長い平均寿命は、日本の誇りです。平均68歳で死んでしまうロシア人の私には、生きられる時間があと半分も残っていません。日本が若者を犠牲にする戦争をしないこと、医療制度が整えられ、食品と水の安全性などは、国民が長生き出来る理由だと思われれます。日本人で生まれればよかったな〜！

「はい、次の方どうぞ。おなかが痛いですか？それは食べすぎですね」。贅沢までいなくても、食べ物と飲み物に困ることのない日本人は、誰よりも幸せだと思います。日本に来て、始めてテレビでデカ盛り早食いコンテストを見ました。意味もなく、無理して口の中に食べ物を入れている芸能人を見て、はっきり言って、ショックでした。世界で1分に約 30 人が餓えて死を向かえると言われていました。その番組は30分続いていました。簡単に計算すると、その30分のうちに、世界で900人が食べ物がなく、命を落としました。笑いを誘うつもりその番組ですが、笑えるのは満腹で幸せな人だけです。

今日診察させて頂いた皆さんのお体は、まだまだお元気でなによりです。しかし、大切にしていかなければ、病気になります。与えられているものは、当たり前として考えるはいけません。感謝の気持ちを忘れれば、大切にしてい気持ちも失われてしまいます。しかし、私は、絶対に日本人に失って欲しくないものがあります。それは、日本人にしかない心です。物を大切にする気持ち、助け合い、お年寄りを大事にすること、慈悲の愛と共感出来る心、恩返しを求めない思いやりなどです。どんなに世界が変わっていても、日本人の誇り、そして、日本人である誇りを絶対になくさないでください。

それでは、お大事にどうぞ。